



12月の園だより

令和5年12月1日
目黒区立八雲保育園 園長

～想像する力を育てる～

季節はゆっくりと色鮮やかな秋から冬へと移り変わりを迎えています。「おはようございます」と登園をしてくる子どもたちも「寒かったね、早くお部屋に行こう」という声が多く聞かれるようになりました。保育園には、朝夕の送迎の際に「ほっと一息つける場所」として1階フロアに「絵本コーナー」があるのですが「今日はこの絵本にする」と親子で好きなものを選んでる姿をよく見かけます。ある日、何度も読み聞かせをリクエストしている児がいました。ページをめくる前の「次は何がでてくるかな」の言葉に目をきらきらさせながら「(あっ) たぁ、ここ」と嬉しそうに指さししています。「いたね、ここにいたんだ」と言葉を返されると「うんうん(やっぱりここだったんだ)」と満足そうに笑顔を見せていました。次のページに何が出てくるか、想像を巡らせながら「きつこうなるんだ」と以前見たことがあった経験を思い出し、それがぴたりと当たった瞬間の笑顔です。また0歳児クラスを覗いてみると、たくさん食べものが出てくる絵本を保育士とやりとりしながら見ている児がいました。“りんご”が出てくるとつまむしぐさをしながら自分の口へ“ぱくり”として(おいしい)のしぐさをしています。その次に目の前にいる保育士に「はい」そして隣にいる友達にも口もとへ運んであげていました。まるで「自分と同じおいしいを分けてあげたい」と相手の気持ちを想像しているようでほほえましい瞬間でした。お話や絵本はその物語の世界を楽しむだけでなく、自分の経験と繋げて考えたり相手の気持ちを感じたりしながら想像力が広がっていくのだと思いました。これからも子どもたちがいつでも身近に触れられる環境づくりをしていきたいです。

今年新型コロナウイルス感染症に関する対応が緩和され、保護者の皆様と子どもたちの姿を喜び合える機会が増えました。保護者の皆様のご協力に感謝申し上げます。ご家族で健康に新年をお迎えください。

12月の行事予定

わくわく発表会
身体計測 避難訓練

1月の行事予定

新年おめでとう会
乳児お楽しみ会
お店屋さんごっこ
(2、3、4、5歳児クラス)
身体計測 避難訓練

クラス懇談会のお知らせ

5歳児クラス

<令和6年>

2歳児クラス

1歳児クラス

0歳児クラス

4歳児クラス

3歳児クラス



*****米作りを通して*****

4月下旬に5歳児クラスと一緒にいった田植えから8ヶ月が経ちました。昨年の冬場から土づくりを行い夏の水やりや藻を取り除く作業など、子どもたちが一生懸命に世話をし、立派な稲が育ちました。9月下旬には楽しみにしていた稲刈りを行いました。天日干しを終えて現在は、脱穀もみすりに奮闘しています。今月末には丹精込めて仕上げたお米を美味しく炊いておにぎりにして食べる予定です。どんな形のおにぎりにしようか、と今から楽しみにしている子どもたちです。



～用務

わくわく発表会に向けての取り組み

～幼児クラス～

ぺんぎん組（3歳児クラス）

『三びきのやぎのがらがらどん』の絵本ではトロルが橋の下にいるため、がらがらどんは橋を渡れません。そんな場面を子どもたちと一緒に「どうしたらいいかな」「なんて言ったらトロルは渡らせてくれるかな」と想像を膨らませています。一方トロル役の子どもたちは、がらがらどんに橋を渡らせたくありません。やぎの他にも「どんな生き物が橋を渡ったら楽しいかな」と子どもたちと考えながら決めた役も登場し、自由に動いたり歌ったりして劇遊びが盛り上がっています。

リズム遊びではペットボトルマラカスを使って表現します。マラカスの中身はハサミで色々な色を塗って切った紙や、ストローなどを入れて作りました。友達と一緒に自分で作ったマラカスを歌に合わせて動かし楽しめます。自由に表現する楽しさを積み重ねていきたいです。



いるか組（4歳児クラス）

子どもたちと“どんな劇がやりたいか”話し合い、大好きな絵本の一つの『ブレーメンの音楽隊』を題材にすることに決めました。劇を作り上げていく中で、どんな動物が登場すると楽しいか、それぞれの動物たちの困りごとは何だろう、と役ごとに考えました。子どもたちは「ハムスターになりたいな」「歯が抜けちゃって困ってるっていうのはどうかな」など、アイデアを出し合う中でどんどんイメージが膨らんでいきます。一人ひとりのイメージや思いがあるからこそ意見がぶつかることもありましたが、「決まったよ、一緒に考えたんだもんね」と、とても嬉しそうでした。

手作り楽器の表現では「世界中のこどもたちが」の曲に合わせ、歌と手作り楽器で演奏することになりました。一人ひとりが「いい音するかな」と、何度も確認しながら工夫を凝らして作った楽器で友達と表現する楽しさをたくさん感じられるようにしていきたいと思っています。



しろくま組（5歳児クラス）

『わらしべ長者』に出てくる役に皆でなりきり、話し方や表情、動きなどを再現しています。「こうやってしゃべったら可愛い娘みたい」「その歩き方元気がない感じに見えていいね」と盛り上がっています。役が決まってからは子どもたちと場面ごとに動きや台詞を考えてきました。わらしべ長者の面白さが出る“交換”の場面では「交換するものを考えないと」と役ごとに相談し「わらしは三つ編みしたひもを作ってサンダルみたいにしたらどう」「剣と刀は本物みたいに金と銀で作ろう」など、イメージを膨らませ協力して作っています。小道具を持って登場すると更に楽しくなり、交換する物や登場人物をみんなで考えた“しろくま組オリジナルストーリー”が完成しました。

「ドレミの歌」の合奏ではたくさんの楽器を試し、それぞれがやりたい楽器を決めました。バラバラだった楽器の音も練習を重ね「音がきれいだね」「一緒になるともっときれいだね」と嬉しそうに話します。気持ちと音色が合うことで素敵な合奏になることに気づいた子どもたちです。

